

# 成功の秘訣は素直さにある

こんにちは、西（資格とっ太郎）です。  
お読みいただきありがとうございます！

いきなりなんですけど、

「どういう人が成功して、どういう人が上手くいかないのか？」

っていうのを最近僕は真剣に考えています。  
（というか、この 2015 年考え続けてきました。）

もうちょっと言い換えると、

“成功の土台になるものは何か？”

っていうことですね。

で、これについてかなり一般的というか、ベテラン講師とか長年“人を育てる”仕事をして  
いる人が口をそろえて言うのが、

“素直さ”

を第一に挙げています。

要するに、教える人のアドバイスを素直に聞き入れて実行する人ほど結果が出るのが早い  
ですよ、っていうことです。

ちなみに、身近な例を挙げると行政書士受験の分野では超人気の LEC 専任講師の横溝慎一  
郎さんも、自身の著書の中で

「素直な生徒は結果を出すのも早い」

と語っていますし、僕もそれはかなり正しいことだと思います。

そもそも、人を育てる人は経験的にどうすれば上手くいっていかってというのは経験的にわかっていてそれを元にアドバイスしているのですから、

素直にアドバイスを受け入れて実行できる人の方が、やらない理由探しに必死な“素直でない人”よりも早く結果を出すというのは当たり前ですよ。

さらに言うなら、“形だけ”素直に実行していても頭の中では常に疑いの気持ちがある場合より、

疑いの気持ちすら全くなく、文字通り“純粋な素直さ”で実行できる人の方が、結果が出るのが早いです。

(その方が、脳内ホルモンのバランスが記憶力と理解力に貢献するので)

が、ここで僕としては、

“素直になるにはどうすれば良いのか？”

っていう疑問も同時に持っていて、

そもそも性格的に素直でない人（いわゆる、ひねくれ者）が急に素直になることができるのか？

もしできるとしたらどうすれば良いのか？

と思いますよね？

実のところ、僕はそもそも「ひねくれ者」的な性格ですし、

別に今もそれはそこまで変わっていないので、

素直でないとと言えば素直でない性格ということになります。

じゃあ、僕は結果を出すのが遅かったのかと言えば決してそんなことは無いし、むしろ客観的には早く結果を出してきたつもりなので、

そういう経験をこのメール講座でシェアしているわけです。

“じゃあ素直さっていったい何なの？”

と。

これについて個人的に分析してみたんですが、いちおうこの文脈での“素直さ”を僕なりに文章で表現してみると

「相手の意見を受け入れられる寛容さ」

とすると、違和感なく受け入れられるんじゃないかと思います。

僕はひねくれ者ではあるけれども、相手の意見を全く受け入れられないほど頑固ではないので、こういう定義に当てはめると、一応“素直さ”は持っているということもできます。(良かった、素直で・笑)

ということは、

“相手の意見を受け入れられない状態”

ってというのが「素直でない」状態っていう事になりますよね？

こう考えると、「相手の意見を受け入れられない」わけですから、自分だけの狭い世界に閉じこもって、いつまでも結果を出せないっていうこともシックリくると思います。

つまり、なんでも相手の意見を否定してしまう

### “否定思考”

これが、成功を妨げる原因、というわけです。

ここまできると、かなり成功を邪魔する要因が鮮明になるんじゃないかと思います。

何回か前の（リアルタイムの）メルマガで、

### “運動した後に勉強すると学習効率がめちゃくちゃ上がる”

っていうのをお伝えしたんですが、否定思考の持ち主は、とりあえず「やらない理由」を探して、そしてやりません。

- ・時間がない
- ・モチベーションがない
- ・ランニングウェアがない
- ・走れるシューズがない
- ・意味が見いだせない

などなど。

やれば効果があるっていうのを、僕含め僕以外の多くの実践者の方が実証しているにも関わらず、やらない理由を探すモチベーションはあるのに実践しないのだからやっぱり「否定思考」は恐ろしいわけです。

ちなみに、素直さは「鵜呑みにする」こととは違いますよ。

（あくまで今回の文脈での「素直さ」は。）

「鵜呑みにする」というのは、相手の意見をそっくりそのまま自分の意見にするという“思考停止”状態ですが、

素直さはあくまで“受け入れられる寛容さ”です。

運動を例に挙げるなら、

「そうか、運動すると良いのか。」

と、まずは意見を受け入れる。

で、そのうえで、

「じゃあ、“取りあえず”試してみようか。」

と、あくまでその効果の判断は自分で行う、っていうのが正しい素直さをもった人の特徴です。

ちょっと話がそれましたが、

そもそも「否定思考」っていうのは誰もが持っている思考パターンなので、

常に「否定」がデフォルト状態で、何をやっても上手くいかない状態って誰にでもなりうる可能性はあります。

人によっては、ある特定の時期に「否定思考」に支配されてやることなすこと何にも上手くいかなくなっちゃった、

なんてこともあると思いますし、

(実際こういうのは僕にも経験あります)

時期によっては、否定思考が嘘のように消えて、

自分じゃないみたいな「素直」な性格になっていろんなことが上手くいくようになった。

みたいなことは、割と普通にあると思います。

で、なんで同じ人でこういう事が起こるのか？っていうのを考えてみましょう。

実はこれも前にお伝えしたんですが、そこに“エネルギー”っていうのが大きくかかわっています。

(エネルギーについてはこちらのレポートを参照してください。)

<http://jscatch.com/tottaro/5energy.pdf>

ざっくり言ってしまうと、

エネルギーが高い状態なら相手の意見を受け入れられるだけの「余裕」ができますから、素直になることができます。

(この辺が「鵜呑み」とは違う部分です。鵜呑みは考えることすら放棄した状態なので、そもそもエネルギーが低い状態です。)

逆に、エネルギー切れの状態のときは、相手の意見を受け入れられるほどの心の余裕がない状態ですから、必然的に「否定思考」に支配されてしまうということです。

かなりざっくり説明しましたが、実は「エネルギー」という視点で見れば、なぜ素直な人は上手く行って、否定思考で上手くいなくなるのかっていうのが鮮明に見えてきます。

素直な状態＝エネルギーが高い状態

エネルギーが高いので上手くいきますが、

否定思考状態＝エネルギーが低い状態

なら、そもそもエネルギーが不足しているので何やっても上手くいかなくなってしまいます。

前回もお伝えしたんですけど、

私生活でエネルギーを奪われやすいのが「テレビ」で、

お茶の間にテレビのコメンテーターの意見とかに、いちいち「こいつなんもわかってねえな。～～」とテレビと会話しちゃってる状態って

完全な“エネルギー切れ”が表面化している状態なんですよ。

そもそもテレビは見るだけでエネルギーが奪われやすいですから、コメンテーターとかの発言にいちいち「否定」せずにいられないっていう状態は、エネルギーが切れているサインである可能性が高い。

ちなみに、僕も数年前くらい、ちょうど精神病に悩まされていた時期は散々テレビに話しかけて嫁にボロクソ文句言われてましたが（笑）

ホントに、エネルギーが切れている状態って、何かに対して文句を言わなきゃ気が収まらない感じがするんですよ。

（文句を言ったところで気が収まるわけじゃないですけど）

で、その姿を見ている（見せられている）周囲の人にとっても気分のいいことじゃないですから、周りの反応も冷たくなるわけです。

で、冷たい反応がさらにその人のストレスになって、

・・・っていう流れで

「何をやっても上手くいかない状態」が必然的に出来上がってしまいます。

ちなみに、「エネルギー切れ」状態は、自分の不幸を“外部”に見出すようになるので、かなり攻撃的になります。

テレビ番組で、極限まで視聴者のエネルギーを低下させて、

そこで「政治に対する批判」みたいな、敵を設定してその敵を徹底的に攻撃するような古典的な構図を作ると、

大量のエネルギー切れの視聴者は、その攻撃的な意見に同調しやすくなります。

こういうのは、マスコミが大衆の感情を“操作”してプロパガンダを作っていく1つのパターンでもあるので、基本、やっぱり「テレビ」は見ない方が良いでしょう。

時間を奪われるっていう視点だと、ほぼ全てのテレビ番組は良くないですし、

エネルギーを奪われるっていう視点だと、特にニュース特番とか「感情煽り系」の番組は最低ですね。

おっと、このメール講座は別にテレビ批判のメルマガではないので（笑）  
話しを元に戻しますが、

そういう（エネルギー切れ）状態になると往々にして、自分が上手くいかない原因を

- ・周りの人が悪い
- ・教える人が悪い
- ・教材が悪い
- ・時間がない
- ・政治が悪い

と「外面」に原因を求めがちで、自分の「内面」に目が向かない状態になります。

これがさらに進行していくと「自己否定」に陥ります。

で、さらに進行していくと精神病になります。

なので、自分のエネルギーが“今どのくらいか”っていうのをちゃんと把握できるようにしておくことは

“人生の最優先課題”と言ってもいいくらい、めちゃくちゃ大事なことです。

例えば、

「なんか今日は調子がいいからエネルギー高いな」とか

「なんか今日は何事にもイライラするからエネルギー低いな」とか

エネルギーが低い状態での勉強とかマジで効率悪いですし、

エネルギーが低い状態は、

(前述のとおり) 基本的に何をやっても上手くいきません。

3時間勉強して、何も得るものがなかった、とかザラにあります。

なので、もしエネルギーが下がっているのなら、それを上げるために「じゃあどうしようか？」っていうのをまずは考えるべきで、

欲を言えばさらに、

「自分の思い通りにエネルギーをコントロールできるようにしておく」

のがベストです。

結果的に、それが「素直さ」みたいな“成功の土台”を獲得することに繋がります。

大袈裟なことでも何でもなくて、

常にエネルギーを高い状態にコントロールできるということは、

“常に何をやっても上手くいく”

という状態ですから。

ではでは、長くなってしまったので今日はこの辺で。

「エネルギー」についてはまだまだ伝えたいことは沢山あるのでまた次回事項お伝えしていきたいと思います。

最後までお読みいただきありがとうございました！

以下、ちょっとだけ告知。

Infinity メンバーには昨日お伝えしたんですけど、  
2016 年から新しい企画をスタートする予定です。

しかも今回は、メール講座の受講生の方々までが募集対象になっているので、

そこまで募集対象を広げた企画は「Infinity」以来、実に 1 年半以上ぶりになります。

基本的に僕は面白くない平凡な企画はやりたくないもので、1 年半の時を経て、「やる」っていうことは、

それなりに面白いものが出来上がったという事なので期待していただいて大丈夫です（笑）

「人生が変わった」という人が続出したのが Infinity ですが、

新しい企画の方では更にそういう人が倍増するんじゃないかっていうくらい、“ヤバい内容”になると思います。

まあ、詳しいことはまた追々お伝えしていきますので、期待してお待ちくださいませ。

西（資格とつ太郎）